

「特別支援教育の範囲」

最近、このような題の文章を読んだ。

私のホームページには多くの特別支援に関する文章を載せてある。通常学級の理科においても、その考え方は大変役立つ実感を持っているからだ。平成26年度の自分の目標に、「特別支援学校教諭二種免許取得」を掲げた。皆さんご存じのように、教諭の普通免許状を基礎に、三年間の実務経験、指定された科目の単位6～8単位で、教職員検定により免許を取得することができる。

放送大学で前期2科目4単位、後期も2科目4単位取得するため、土日に学習センターへ通い、ビデオや音声教材を視聴した。単位認定試験前は、眠い中、よく頑張ったと自負している。大変なこともあったが、充実した学習時間であった。

単位取得後、必要書類をそろえ、申請書を提出し検定を受けた。

先日、念願の免許状が届いた。

今となっては、知識が中心だが、かつて特別支援学級でお世話した子供、普通学級に在籍していた特別な支援が必要な子供たちを思い出しながら、学習することができた。

当時の私の対応のまずさや、良かったことなどを振り返ることができた。

次年度からは、この知識と経験をもとに、先生方の助言ができたらと思う。

さて、話しを戻すが、上記文章の筆者は「特別支援の範囲は？」の自問に対し、「**全ての子供**」と答えている。

まさにその通りだと思う。